



発行所 東京薬科大学 責任者 村上清貴

一月月号

# 論議のだけエマテ学内連絡会議

## 学内連絡会議議題

### 1 図書館について

- (1) 開館時間の延長
- (2) 館内設備の拡充
  - ①蔵書(専門書、その他)の増
  - ②コピー機器の使用と設置
  - ③検索システムのコンピュータ化
  - ④図書貸出システムの自動カード化(バーコード、OCR式)
- (3) 利用者の意見の導入

### 2 教務問題について

- (1) 留年者の取り扱いについて
  - ①履修制度について
  - ②学費について
- (2) 選択制
  - ①どのような問題があるか
  - ②導入することでどのような効果が期待できるか
- (3) 今後の対策と大学側の意見
  - ①学生側の問題
  - ②大学側の問題はあるか

### 3 黒菱ヒュッテについて

#### (1) 現状報告

### 4 学内美化

### 5 その他

- (1) 多目的ホール
- (2) 学部学生駐車場について

## 権限、予算に固執

一月十四日(水)、学内連絡会議が開催された。この会議は公式なもので、懇談会などと違い議事の内容が保存される。昭和五十八年十二月以来、三年ぶりに開かれた。学生側の出席者がやや少なかったが、多くの職員が参加し、討議が行われた。

一月十四日(水)、学内連絡会議が開催された。この会議は学生側と大学側の意志疎通を図り、大学の運営を円滑化するものである。しかし、この数年開かれたことがなく、今回は三年ぶりの開催となった。議題は表の通りである。これらの議題は学生側から大学側に提出した要望事項である。これらに対する大学側の回答を以下に要約してみた。

I 図書館について  
 ①開館時間の延長  
 改善には職員増員が必要であり、予算的処置を講じる必要がある。これは図書館長\*\*\* \* \* \* \* \*

II 館内設備の拡充  
 ①蔵書(専門書、その他)の増  
 現在年四八〇〇万円の図書購入予算を五〇対五〇で教育側と研究側に割り当てている。欲し本がある場合、図書館に設置してある箱に入れても入るはずである。②コピー機器の使用と設置(台数の増加、使用の自由化)現在設置されているコピー機は持ち出し禁止の学術文献の\*\*\* \*\* \*\* \*\* \* \* \* \* \*

III 利用者の意見の導入  
 ①学生側の問題  
 ②大学側の問題はあるか  
 学内連絡会議に出席して感じたことは、大学側が明らかに防衛に回っているというところである。例えば図書館問題で、開館時間の延長の要求が、予算的処置を講じる必要がある、図書館長の権限を越える、とかたづけられてしまった。この問題に関しては、学生側から学部学生と院生の一部が提示されたアンケート結果が示された。アンケートの結果は、学長に話をするには少なすぎるという。確かにアンケートの数が少なかつたのは事実である。しかし、開館時間延長の要望は学生に限らず研究室の職員も持っているものである。それにもかかわらず、結果に表れたパーセンテージを無視したばかりでなく、院生のアンケートが入っていないのはおかしいのでは? という質問が出ると、大学側に誠意が欠けているという言はかき、議場には多数の教授を含み、二十名近い職員がいたのである。そして個人の意見は\*\*\* \*\* \*\* \*\* \* \* \* \* \*

## 誠意ある対応を

してならば誰でも発言できるはずである。「権限を越える」からそれ以上問題を進めないのでは、何の進展も期待できない。だから、責任後所ではない。何らかの回答を示すべきだ。つたのではあるがどうか。教務問題など他の問題についても、大学側の反応は図書館問題と大差が無く、ひたすら防衛にまわり誠意がないように思われた。せっかくの機会なのだから、せつかつく機会な意見が聞きたかった。もう一つの問題点は時間の不足である。司会者にせかされ、言いたいことが満足に言えないような状態だった。これは企画の段階で既に問題が\*\*\* \*\* \*\* \*\* \* \* \* \* \*

思える。また、充実した生活が行えるならば、学費は当然一般学生と同じであるべきだ。(以上、教務部長の兼教教授による。)

II 選択制(語学)  
 兼任講師が欲しいというが、本来はこれらの評価が当てである。(齊田教授による。)

兼任講師の先生方には、他大学から考へる方になり失礼なことまでお願いしている。\*\*\* \*\* \*\* \*\* \* \* \* \* \*

3 黒菱ヒュッテの不足、連絡手段の確保  
 これまでの管理人が亡くなったので、それについてはこれから話し合いたい。電話は設置可能である。水の問題は難題である。ポリタンク等を用意して急場をしのいではどうか。タンクの不備等詳しくは調べる。(以上、土屋さんによる。)

4 学内美化(土がむきだし)  
 学内美化(土がむきだし)の設置、変質者対策)の学生側から指摘があり対象もはつきりしている。\*\*\* \*\* \*\* \*\* \* \* \* \* \*

5 その他  
 一月十三日に第一次多目的ホール設置委員会が開かれ、現在検討中である。(土屋さんによる。)

II 学部学生駐車場について  
 (一) 駐車場の入り口に一種の門を設置し、時間によって入場する車を規制するという提\*\*\* \*\* \*\* \*\* \* \* \* \* \*

あり、二時間という時間内に密度の高い議題を複数討議しようとした。学生側としては、どうも少く、議題を絞るべきだ。また、司会者の佐藤先生にも、時間の都合で「手短かに」を連発し、挙手して議論を打ち切るようなことはすべきではない。

このような事情から、今回の会議における討論は、決して充分なものではなかった。これは一つのステップと考え、今後このような機会を多く持つべきであろう。そして、今回提起された問題を更に煮詰めて、大学の生活環境をより良いものにしていくことが望まれる。

最後に、今まで大学側の誠意のなさを批判してきたが、この批判を正当なものとするためにも、わずかな時間とはいえ、ええ定めに運れた学生側の態度も改められるべきであろう。\*\*\* \*\* \*\* \*\* \* \* \* \* \*

薬味

朝、平山の駅から学校までバスに乗らずに歩いたことがあり、これに対して十分弱で着てきた。一番近い道はかなり急な上りの山道で、慣れた人でも十分弱で慣れた。靴もよもよもやした。バスに乗ると混んでいるし、立ったまま十分弱、曲が角ではなかなか揺れる。歩けは朝の張りつめた空気や、霧柱を吹きかけた地面、白く化粧したササや木立を見て、自然に肌で感じる。木立を歩ける。バスは、木立をすくれば、後には平山をはじめ多摩の町並みが始まる。そして右手には富士山が、そして山並みが見られる。私が見た。前にも見た。意味的。問題のためだけに不便なものである。特に帰りの時、東葉は実習で遅くなる。終わる時刻も一定していない。そんな時にバスに待たされるのはおもしろくない。クラクションなどで遅くならない。バスなど遅くなる事もある。比較的本数の多い平山バスでさえ、この調子だ。豊田バスや多摩バスの利用者はもっと大変だろうと思う。平山のように歩くことはちょっとできない。バイクや車の利用者が増えるのも自然だと思える。しかし、そのために、駐車場不足や駐車違反問題などが起きている。これらを考えるのが、この間、会足した交通問題特別小委員会である。通学という基本的な事に関係するだけに、委員会の活動により、豊田バスの時刻表の改善や多摩バスの本数の増加だけでなく、橋本木道も期待している。(A、N)

回答者数 68 名

項目	人数	割合
1. 新しい本が非常に多い	0	0%
2. 新しい本が多い	0	0%
3. ふつう	27	36%
4. 古い本が多い	38	51%
5. 古い本ばかりである	3	4%

回答者数 74 名

項目	人数	割合
1. 非常に早すぎる	14	19%
2. 早すぎる	38	51%
3. ちょうどよい	20	27%
4. 遅すぎる	2	3%
5. 非常に遅すぎる	1	1%

新聞会ではこれから数回に渡り、語学について特集する。現在授業を受けている人も、かつて受けた人も、その制度や内容に不満を持つ人は多い。何をしよべか、授業のなつかわらぬ、声も小さくして全クラスにより当りない教師がいる。毎年ある。そのために留年する人も少なくない。問題は教務全体に関わってくる。そこで今回は、教務問題の一環として特集することになった。その第一回目として、今東葉の語学(英語)について、今東葉の語学(英語)のクラスは、通常2、3人、再履修者の多いクラスでは5人を超えるところがある。授業のやり方にもよるが、やはり人数が多すぎる。語学は他の授業と違い、講義形式ではない。だからひとりひとり指しながらいかに進めたいのに、この人数では毎時間あたりに、この人数で数回しかあたらなかつたという話もよく聞く。その方が楽でいいという人もいる。でも、その程度で済ませてもかまわない。いっそうでもいっくらならいっくらいい。ところが、語学はそうではないのだ。有機や生化学などにおいても教師はさかんに語学の重要性を強調し、有機などは英語の教科書を使っている。語学は専門科目の一つだとさえ言われている。科目目ではないし、通ればいっくらいい。済まなければ、一年を通過して一回しかあたらなかつた人もいながら、喜んで

# 70人では多すぎる

## 語学問題特集その1

いれよいいものではないだろう。さて、それは他大学ではどのような状況になっているのだろうか。中大では多摩大では2、3人程度、多摩大では2、3人程度、立教大や外語大では3、4人程度、これは大抵は専門の原書講読でもっとも少人数になる。今東葉の語学は、先日のアンケートでは、語学を専らに用いた学内連絡会議では、文科系も理科系も関係ないだろう。また、他大学では、どの外国語を選ぶかによって、その人数が違っている。そのために明大などのように2、3人と幅があるのだ。東葉は、英語、独修と決まっているので、一定の人数にしようというので、先日に挙げた有機の英語の教科書を、実際に使っている人々の多くがノートや訳本を使っている。その中で、日本語と英語を同じように使っている人は、日本語を勉強するに必要ない。そのための努力は欲しい。そのためにも語学の授業を充実させなければならないだろう。多くても三十人台、できれば二十人程度が望ましい。教員や講義室の数に問題はあるけれども、今までの状態を改善するべく、早急に改善するべきだ。

# 各部門新執行へ

## PART II

大変残念な事です。さて、今年からは、更に、内藤君を中心として、より大きな飛躍を遂げてくれるものと期待しています。

昨年十二月に交通問題特別小委員会が設置された。ここで取り上げられるのは、主にスクールバスと駐車場の問題である。現在、本学の学生の足となるバスの本数が少なく、また終バスの時間が早い。そこで、各部門の担当は、文化部門が由木オリエンテーション、体育部門がマラソン大会、同好会が高尾山ハイイクと例年通り

留年者の声

アンケートからの抜粋

現在留年しているが、先日大学の財政の内情を知ることがあった。先日のアンケートから八億円黒字が続いているとのことである。入学時、寄付金についての説明と事業費は、親は学費を納入した。今年度だった四科目のために百万円を支払った。出来れば単位数を立場も十分に察してほしい。出来れば単位数を

留年したのは本人の責任であるが、本学のペナルティを課している。精神的にかなりなダメージは考慮すべきである。学生(留年者)を含むにマインスになっている。これはかなり学生の自主勉強を促している。これに反対して、そのことをすれば大学が留年者を奨励している。一般の人に思われるのと異なるが、一般の人にアンケートを取ってみると、誰か「留年時は実習などほとんどやらない」が、その分安くなる。ことに反対して「それは大学が留年を奨励している」と思っている。

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	59	93
一部は自分で支払った	3	5
全額自分で支払った	1	2
その他		

留年時の生活費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	33	52
一部は自分で支払った	27	43
全額自分で支払った	2	3
その他	1	2

留年時の学費について

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

落とした科目の数	一科目当たりの値段(円)	人数(人)
2	50万	1
3	33.3万	17
4	25万	22
5	20万	13
6	16.7万	6
7以上	14.3万	4

新歓実行委員会

六十二年度の新年キャンパスが、四月二、三、四日に北野大学セミナーハウスで行われることに決まりました。

キャンパスは

四月二日から

留年者のアンケート

本学学生自治会自治委員会では、昨年九月十日から十二月二十日の間に留年者を対象とするアンケートを行った。この留年者実態調査の中間結果が、先日の学内連絡会議の折りに、出席した職員に配られた。以下の表及びグラフは、それらの中から特に学費に関するものを抜粋したものである。

留年時の学費について

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	59	93
一部は自分で支払った	3	5
全額自分で支払った	1	2
その他		

留年時の生活費について

留年時の生活費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

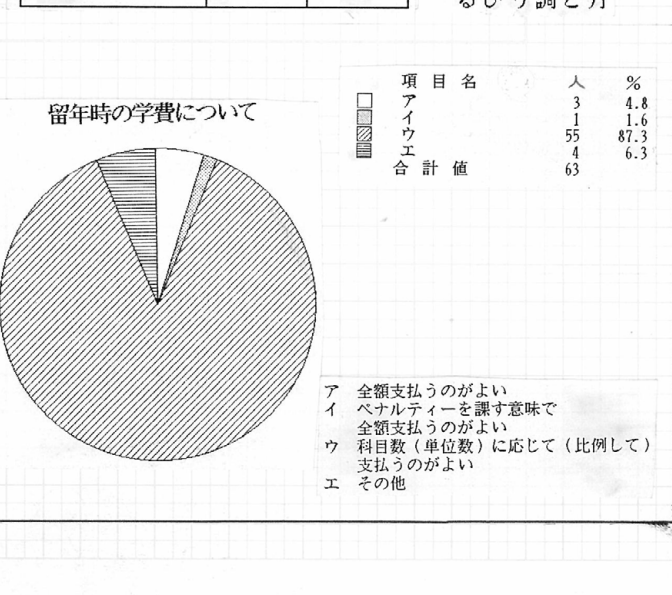
項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	33	52
一部は自分で支払った	27	43
全額自分で支払った	2	3
その他	1	2

留年時の学費について

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

落とした科目の数	一科目当たりの値段(円)	人数(人)
2	50万	1
3	33.3万	17
4	25万	22
5	20万	13
6	16.7万	6
7以上	14.3万	4



留年者の声

アンケートからの抜粋

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	59	93
一部は自分で支払った	3	5
全額自分で支払った	1	2
その他		

留年時の生活費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	33	52
一部は自分で支払った	27	43
全額自分で支払った	2	3
その他	1	2

留年時の学費について

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

落とした科目の数	一科目当たりの値段(円)	人数(人)
2	50万	1
3	33.3万	17
4	25万	22
5	20万	13
6	16.7万	6
7以上	14.3万	4

留年時の生活費について

留年時の生活費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	33	52
一部は自分で支払った	27	43
全額自分で支払った	2	3
その他	1	2

同好会長を引き受けてはや一年、あれもやううこれもやううと思つてこの任に就いたのですが、思う所の半分も成就しなかつたのが、大変心残りです。同好会という脆弱な、しかし、若く、柔軟な基盤の上で働けたのは、望外の喜びです。新執行等、各同好会が、丸となり、成功した事など、喜ばしい事もありますが、二三の同好会に御迷惑をおかけしてしまつたのは、

留年者の声

アンケートからの抜粋

現在留年しているが、先日大学の財政の内情を知ることがあった。先日のアンケートから八億円黒字が続いているとのことである。入学時、寄付金についての説明と事業費は、親は学費を納入した。今年度だった四科目のために百万円を支払った。出来れば単位数を立場も十分に察してほしい。出来れば単位数を

留年者の声

アンケートからの抜粋

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	59	93
一部は自分で支払った	3	5
全額自分で支払った	1	2
その他		

留年時の生活費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	33	52
一部は自分で支払った	27	43
全額自分で支払った	2	3
その他	1	2

留年時の学費について

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

落とした科目の数	一科目当たりの値段(円)	人数(人)
2	50万	1
3	33.3万	17
4	25万	22
5	20万	13
6	16.7万	6
7以上	14.3万	4

留年時の生活費について

留年時の生活費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

項目	人数(人)	割合(%)
全額保護者が支払った	33	52
一部は自分で支払った	27	43
全額自分で支払った	2	3
その他	1	2

留年時の学費について

留年時の学費は誰が支払いましたか？

回答者数 63名

落とした科目の数	一科目当たりの値段(円)	人数(人)
2	50万	1
3	33.3万	17
4	25万	22
5	20万	13
6	16.7万	6
7以上	14.3万	4